

吉岡町議会ICT化推進

議会DX さらなる進化へ

より効率的な審議審査へ

昨年の改選より議員各自にタブレット端末が貸与され、最新の資料がタイムラグなく手元に届くので精査に時間をかけられるようになりました。また議会広報常任委員会では、委員会中の紙資料の削減に取り組み、導入前と比較し約7割の削減を実現しています。引き続きペーパーレス化を目指し、SDGsに取り組んでいきます。



議会全体でペーパーレス推進（タブレット講習会）

委員会議事録の公開に向けて

委員会審査の過程をお示しできるよう、委員会議事録を作成するシステムを試験運用しています。これからも町民みなさんに開かれた議会を目指していきます。



音声文字化システムの専用マイク

議場で音声字幕表示を開始

より多くの町民の皆さんに議会を傍聴していただけるよう、議場傍聴席に議会本会議中にリアルタイムで発言を字幕表示するモニターを設置しました。



いろいろな障害への配慮が必要

より質の高い広報編集へ

議会だよりの編集作業の効率化を目指して、文章校正ソフトと広報誌編集ソフトを導入しました。誤字脱字や記事の配置などの細かな修正に要していた時間を短縮し、議会だよりのさらなる質の向上に焦点を当てることを目的としています。



編集効率が大幅に改善された（議会広報常任委員会）

議会だよりモニターさんの声

吉岡町議会では、議会だよりの内容の充実を期するため議会だよりモニターを設置し、議会だよりなどに関するご意見をいただいています。前号の感想や町に関するご意見をいただきましたので一部紹介します。

先日人口戦略会議で「消滅可能性自治体」が発表されました。県内では唯一吉岡町だけが「自立持続可能性自治体」とされています。「ベッドタウン」として若い世代や家族層の流入が進んでいる」というのが町の分析と報道されていますが、これは地勢的な理由に過ぎないと言っているのと同じです。町として積極的に取り組んだ結果ではなく、偶然のたまものということでしょうか。

町として真に安心・安全な住みやすい環境を整備するためには、今何をするべきなのか、議員の皆様にもぜひとも考えてもらいたいと思います。人口が増えつつある今こそ、今後の100年を見据えた政策が必要と考えます。

文化センターを利用することがあるのですが、トイレの和式が多くてびっくりしました。

今の子どもは和式の使い方を知らなかったり、できない子もいると聞きます。また、年配の方も膝や腰が痛くて大変な方がいます。ぜひ洋式に変えるように検討してほしいと思います。(文化センターのホール側もお願いします)

新聞記事で議会の傍聴席のモニターにA Iの字幕が付くとのこと。大変良かったと思います。特に手話の使えない難聴者や高齢者にとっても便利になったと思います。

ただし、コミュニケーションが手話の聴覚障害者にとっては字幕を読み、理解するのは困難な人が多いと思います。

ぜひ、今後はこのような聴覚障害者のため、手話通訳者を議場にお呼びしたいと思います。いろいろな障害者に対して配慮して下さっていること、今後も続けていただければと思います。

小・中学生の子が各1人ずついる者です。

子育て支援として議会で検討していたっているものがあることがよく分かりました。給食費無料化もありがたいですが、子どもたちが安全に生活できる施策をお願いします。

子育ての真っ最中です。旅行する際に様々な「子供を遊ばせる地域の施設」を利用しています。

そこでなんですが、町民の方々に「こんな素晴らしい施設があったよ!」と教えてもらい、議員が視察して今後の吉岡町の展開に活かさないでしょうか?絶対子育て世代の人々は快く教えてくれるはずですよ。そういった「名指しのアンケート」を是非ともやってほしいです。

今までこんなに真剣に議会だよりを読んだことはありませんでした。知らなかったことも多く、理解できないこともありました。各議員は地域住民の声をどのように吸い上げているのでしょうか。もっとコミュニケーションが必要と感じます。

第6次総合計画3年目、これからの2年間で何ができるか、進まなかったのか、その原因と対策、今後の検討課題など既存計画をベースにした町政の歩みを分かっていただくことともに、新たな課題となることに臨機に対応しなければならないことにも注目して記事を作成していただければと思います。

議会や議員さん、そして町の今を知るために、工夫を凝らして作られた議会だよりはとても大切だと感じます。自分たちの住む町をよりよくしていくために、まずは町のことを知ることの重要性を子どもたちにも伝え、議会だよりを活用させていただきたいと思っています。これからも読みやすく、議会や町の様子が分かりやすい議会だよりが届くことを期待しています。

よしおか NO.144



- 問1 「ひばりの家」の開設は今年の何月でしょう。
A. 5月 B. 6月 C. 7月
- 問2 物産館かざぐるまが振興公社による運営になったのは今年の何月でしょう。
A. 4月 B. 5月 C. 6月
- 問3 一般質問は何人が行ったでしょう。
A. 9人 B. 10人 C. 11人

応募方法

- ・はがきに答えの記号(例1-A)、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。
- ※個人情報商品の発送のみに使用します。
- ・ご意見やご要望などもあわせてお寄せください。「お便りコーナー」で紹介します。

応募先

〒370-3692
吉岡町大字下野田560番地 吉岡町議会事務局

応募期限

賞品 正解者の中から抽選で5人に、図書カード1,000円分をプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回の正解は1-C、2-C、3-Aでした。

編集委員

委員長 富岡 大志
副委員長 藤多ゆかり
委員 富岡 栄一
宮内 正晴
大井 俊一
春山 和久
山崎 守人

編集後記

田んぼの緑も濃くなり、朝晩は爽やかな風が水面を吹き抜ける季節になりました。

今号よりカラー化し、紙面をリニューアルしました。読みやすく、手に取ってもらえる議会だよりをお届けできるよう編集委員一同努力してまいります。(藤多ゆかり)

皆さんの傍聴をお待ちしています

次の議会は9月上旬を予定しています。会議は9時30分から始まります。詳しい日程などは広報よしおか8月号に掲載されます。また、町ホームページでもお知らせします。